

学年

教科等

単元等

活用アプリ

中1

数学

正の数 負の数

オクリンクプラス

授業
内容

正負の数の計算を数直線で表すことで理解し、説明できるようにする

準備：

- ・共有コードを使用してカードを取得する。
- ・「①問題カード」を切りはなし、子供たちのマイボードに送信する。必要に応じて、問題カードを追加する。
- ・みんなのボードに、問題数にあわせて、「①問題」「②問題」「③問題」などのボードを適宜用意する。
- ・「提示用：見本カード」もしくは「提示用：見本カード(空)」を投影できるようにしておく。

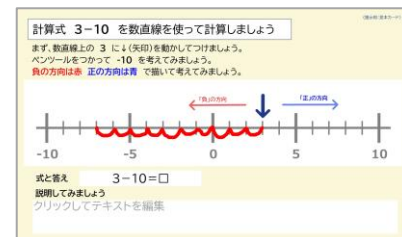
授業の流れ：

1. 先生が提示する「提示用：見本カード」（または「提示用：見本カード(空)」を使用）の問題について、数直線を使った計算方法を全員で確認する。
2. マイボードに配付された「①問題カード」の計算式について、数直線を使って考え、**【式と答え】** **【説明してみよう】**を入力する。
3. 「①問題カード」をみんなのボードの「問題①」に送って共有し、ほかの人の考え方を確かめる。
4. 自分のカードを提出BOXに提出する。
5. マイボードに送られた「②問題カード」または「③問題カード」の計算式について、数直線を使って考え、**【式と答え】**を入力する。
6. 3と同様に、みんなのボードの「②問題」または「③問題」のボードに送り、共有する。

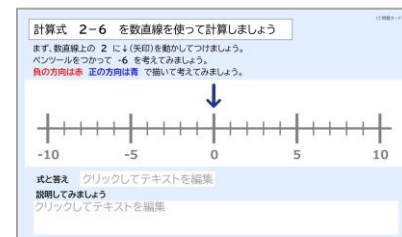
サポータ
おすすめ
ポイント

- ・数直線を使って正の方向、負の方向を意識して何度も考えたり、ほかの人の説明を読んだりすることで、「+」、「-」が符号であることを理解することができます。
- ・問題カードの計算式部分を編集して配付することで、何度も出題することができます。
- ・数直線のためのカードもお使いいただけます。

提示用：見本カード



①問題カード



問題作成用：③問題カード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01JVW92ENNNC9GQB2AWFZ0S8J2